

正副会長を選出、受診率向上にむけ議論

府医療保険者協議会



府医療保険者協議会は5月25日（水）、府国保連合会で開かれた。

片田会長の挨拶の後、協議事項では、規程及び細則について京都府が本協議会構成委員に特別委員として参画する等の内容を加えた改正案について事務局より説明があり、承認された。また、正副会長の選出にあたり、会長に京都府国保連合会片田副理事長を、副会長にオムロン健康保険組合青山常務理事、全国健康保険協会京都支部小林部長を選出した。

平成22年度の本協議会開催状況、特定健診・特定保健指導に係る集合契約の状況、特定健診・特定保健指導事業従事者養成研修の開催状況、特定健診・特定保健指導に係る研修会の開催、特定健診・特定保健指導等評価検討会の開催状況、特定健診受診促進啓発活動など平成22年度京都府医療保険者協議会事業について、また、同年度歳入歳出決算の認定について報告があり承認された。



報告事項では、平成23年度特定健診・特定保健指導集合契約、平成23年度本協議会事業の状況について説明があった。

また、京都府は、今後の本協議会の取り組みとして、「健康に不安を感じている層」や「健康への関心が高い層」をターゲットに、薬局やフィットネスクラブ等を拠点として、専門家の特性を活かしながら特定健診の受診勧奨を行う「健診受診促進拠点構築等事業」を検討し、京都府として財源を含めた支援を行うことを視野に入れていることを示した。